



いつも温かいご支援をいただきありがとうございます。地域体験活動では、子どもたちが県庁を飛び出し、地域に根付いた施設や団体を訪問し、直接お話を伺うことで、滋賀県の魅力や課題について学びます。今年は4か所の協力をいただき、子ども議員たちは各地で貴重な体験をしています。

「itteki」とは？

子どもたちは、長浜市にある「itteki」を訪問し、移住者であり若手社会起業家の中井さん（24歳）と、長浜市役所の未来こども若者課の小川さんからお話を伺いました。大阪から移住した中井さんが運営する合同会社andstepが中心となり、地域に根付いた居場所づくりを推進しています。

・目的

「itteki」は、高校生や大学生が自己肯定感を高め、地域への愛着を育む居場所として設立されました。人口減少が進む長浜市において、若者が地域とつながりを持ち、活気を生み出すための取り組みを行っています。

・利用者数

開設以来、利用者数は7,000人超に達しており、多くの若者に支持されています。

・主な活動内容

高校生たちが自由に勉強や自習をしたり、友人と会話を楽しむだけでなく、地域の人々と共にプロジェクトを進める場としても機能しています。こうした共創の場を通じて、地域活性化にも貢献しています。



子どもたちの学び

子どもたちは、「itteki」の取り組みを通じて、以下のような学びを得ました。

- ・地域に居場所を作ることが若者の成長と地域活性化につながることを。
- ・高校生たちが主体的に活動する姿から、地域とのつながりが生まれる重要性を実感。
- ・「itteki」が目指す、若者の自己肯定感を高める場づくりが大切であること。
- ・勉強や友人との交流だけでなく、地域の人々と協力して進めるプロジェクトが生まれていること。
- ・人口減少が進む長浜市で、若者と地域のつながりを強めることの重要性。

子どもたちは、地域に居場所を作る意義や、若者と地域の共創による新たな価値づくりについて多くを学びました。

中井さんご紹介

中井さんは、合同会社andstepを運営し、長浜市にある若者のための居場所「itteki」のユースワーカーを務める24歳の若手社会起業家です。大阪から長浜市に移住し、「地域を活性化し、若者が輝ける場を作りたい」という思いで活動を行っています。子どもたちに中井さんはじめとする若手社会起業家が滋賀県の課題に取り組むことを子どもたちに伝えて欲しい思いからお願いしました。今回のテーマは「地域活性・若者・子ども・移住・人口減少」です。

子どもたちの感想から

子どもたちは、長浜市の「itteki」を訪問し、その取り組みや施設の重要性について多くの気づきを得ました。以下に主な感想をまとめました。

・地域全体への期待

「ittekiの取り組みを長浜市だけでなく、滋賀県全体に広げたい。滋賀には、ittekiのような施設が少ないと感じる。」

「空き家などを活用して、同じような施設がもっと増えたらいいと思った。」

・自分たちの街での希望

「自分の街にもこういう施設があればいいなと思った。」

「湖南市にもittekiのような場所が欲しい。」

・新しい発見

「こんな活動があることや、こんなことをしている人がいることを初めて知った。」

「滋賀県全体にこうした取り組みが広がってほしい。」

・居場所の重要性

「ittekiは、みんなが安心して過ごせる居場所だと思った。」

「高校生になったら、自分もこういう場所を利用したい。」



まとめと今後の活動に向けて



子どもたちは「itteki」が提供する安心できる環境や、地域に根差した活動の意義を深く理解し、自分たちの住む地域にもこうした取り組みが広がることを望む声が多く挙がりました。この体験が、滋賀県全体の未来を考える貴重なきっかけとなったようです。